

1518

1518

五

五

統治上

関

秘

ま
ろ
下
一
御
部
部
代
目
件

御
部
部
代
目
件

御
部
部
代
目
件



秘

親展

至急

密受第二五九



電報譯

五月十八日

午後二時四十分

午後二時四十分

第七號

00173

陸軍大臣

宛

發信者

朝鮮總督

李王根殿下

宛

發信者

朝鮮總督

薨去之際

宛

發信者

朝鮮總督

統治上

薨去之際

宛

發信者

朝鮮總督

名ヲ存シテ

宛

發信者

朝鮮總督

依リテ本職ヲ

宛

發信者

朝鮮總督

本部附ヲ兼職トスル

宛

發信者

朝鮮總督

配慮アラントシテ

宛

發信者

朝鮮總督

右ハ軍司令官トモ

宛

發信者

朝鮮總督

打合セ濟ミ付

宛

發信者

朝鮮總督

急ニ爲メ申添

宛

發信者

朝鮮總督

手紙
六月十八日
午後二時四十分

朝鮮三光丸

五月十九日

四枚

手紙



電報譯

五月十八日午前午後二時四十分發

第二〇號

00174

陸軍大臣宛

發信者

朝鮮軍司令官

朝鮮参六一

1519

六月

結

朝鮮總督本職ヲ訪問ノ上、如キ相談アリ。李王根殿下ハ國葬終了後、本情ノ許ス限リ速カニ内地ニ歸還セラルハ勿論ナル。キモ朝鮮御在任ノ形式ヲ示シ此際朝鮮内民心ノ安定ヲ計ルハ、頗ル必要ナリ。己カ爲メ殿下、軍部ニ於テ職務ヲ朝鮮及内地ノ兩方ニ有セラル、如クナスヲ得ハ、頗ル良好都

合す右ニ仰異存ナセハ本職ヲ其筋へ交
 渉ス（キヲ以テ年部ニ於テ然ルハ）配慮アリト。
 ツレニ對シ本職ニ於テ同感ニテ異存ナキ旨
 答（置ケリ然ルハ）仰領議アリタシ。
 總督ヨリ本日其筋へ送付申出アル筈
 ナリ爲念。委細ハ参謀次長歸京後
 上仰治申上ル筈。